

DX 今物語

(18)

DXってそもそも何で
化の高度版でしょうか。
しょう。改めて考えてみ
ITが広がれば「働き方
と」いろいろです。IT 改革」や「社会の変革」



◇まずだ・たけし N T
T研究所で通信系業務オペ
レーション支援システムの
研究開発、および、「Wi
n Actor」の前身とな
るRPAツール「UMS」
をはじめする複数のDX系
技術の研究開発・実用化に
従事。2年前から現職。

NTTアドバンステクノロジー
DX&GXビジネス事業本部
ビジネスストラテジー部門
担当部長 増田 健

につながるのわわかりま
すが、「企業文化」や
「マインドの変革」にど
う関係するのでしょうか。

最近「デジタルの民主
化」や「市民開発」など
の用語もウェブ上を賑わ
せています。少し前に私
たちの身の周りでもこん
な議論がありました。

A:「DXをどうとら
えるかは人によって違う
よね。世の中を便利にす
るだけならIT化でいい
のにDXと呼ぶのはなぜ
だろう」

B:「DXの実態は、
競争の激化・効率の追求
で労働者を不要にするぐ
らいの大きな変革のこと
じゃないかな。GAF
Aのような企業が市場を席
捲していて、既存企業も
リストラで対抗しないと

DXってそもそも何？

生き残れなくなる。それ
に遅れをとってはいけな
い、ということだと思っ
よう」

A:「それは狭い捉え
方じゃないかな。単に経
営の効率を追求しても行
き詰まるだけ。GAF
Aだって新しい価値観を世
の中に送り出したことが
重要なんだよ。小さい企
業や斜陽な業界でも、I
Tによって社員自らが多
様な価値観を創出した
り、市場に実際に展開で
きるようになってきてい
る。これが本来の広い意
味じゃないかな」

B:「でも、日本のよ
うに組織や雇用の枠組み
に流動性がないと、DX
も所詮は現場の改善活動
の延長だよ。経営側は良
い方向に向かうように見

せているけど、最終的に
はリストラ。経営にとっ
てDXは都合良く誘導す
る方便だね」

A:「ムム。DXを提
唱したストルターマンさ
んは「ITの浸透が、人
々の生活をあらゆる面
でより良い方向に変化さ
せる」といつているけど、
勝ち組しか恩恵にあずか
れない、ということ？」

(ここで二人は、せつ
かくの機会だからと原典
をひもといて実際に読ん
でみる)

B:「『IT化によっ
て引き起こされるありと
あらゆる影響をまとめて
DXと呼ぶ』と、能動的
な行為ではないから『D
Xを実現する』といった
使い方は本来の意味じゃ
ないよ。DXⅡ『影響』

の側から個々のIT技術
を評価するというのがこ
の論文の主旨だね」

A:「元々はDXを良
いとも悪いとも言ってい
ないのか。『影響』の側
から評価、ってどういう
こと？」

B:「革新的な技術は
ど使い方次第。DXⅡ
『影響』には良い面・悪
い面が両方ある。不幸な
使われ方が広がってしま
ってからでは遅いから、
しっかり評価して能動的
に未来を選び取る必要が
あるということだね。論
文では、そこを研究者が
認識して進めるべきと言
っているね」

A:「僕らとしては、
影響を受ける全員がお互
いを身近に感じながらD
Xを進めていきたいよ。

大きな変革には重大な決
断や痛みを乗り越える覚
悟も必要はなす。私たち
一人ひとりが等身大の感
覚で技術を賢く使いこな
し、みんなのこととして

「革新」を共有し積み重
ねていくことが大事なの
かも知れないね」

DXの原典は、意外に
もバラ色な未来技術の予
言ではありませんでした
が、誰もが便利に暮らせ
て誰一人取り残されない
社会を実現していきたい
という提唱者の力強い願
いがあります。Aさんの
指摘は遠からず「デジタ
ルの民主化」、「市民開
発」を実践することなの
かも知れません。それに
よって誰もが望む未来を
確かな現実にしていきた
いですね。